

# 松代大本営

(小・中学生用)



### 工事のおおよそ

倉庫名	場所(旧町村名)	工事命令	用途
①	イ号倉庫 埴科郡松代町象山	1944. 10. 4	政府・NHK・電話局
②	ロ号倉庫 埴科郡西条村舞鶴山	1944. 10. 4	大本営
③	ハ号倉庫 埴科郡豊栄村皆神山	1944. 10. 4	食料庫
④	二号倉庫 上高井郡須坂町鎌田山	1945. 3. 23	送信施設
⑤	ホ号倉庫 上高井郡都住村雁田山	1945. 6. 8	送信施設
⑥	へ号倉庫 上高井郡須坂町臥竜山	1945. 6. 8	送信施設
⑦	ト号倉庫 埴科郡清野村妻女山	1945. 3. 23	受信施設
⑧	チ号倉庫 上水内郡芋井村(善白鉄道)	1945. 7. 12	皇太子・皇太后
⑨	リ号倉庫 埴科郡雨宮県村薬師山	1945. 7. 12	印刷局
⑩	仮皇居 埴科郡西条村舞鶴山	1945. 3. 23	天皇・皇后・宮内省
⑪	賢所 埴科郡西条村弘法山	1945. 7. 12	賢所
⑫	海軍壕 上水内郡安茂里村小市	1945. 6. 26	海軍省・軍令部



NPO法人 松代大本営平和祈念館

〒 381-1231 長野市松代町松代1461  
tel 026-214-1557 fax 026-262-1831

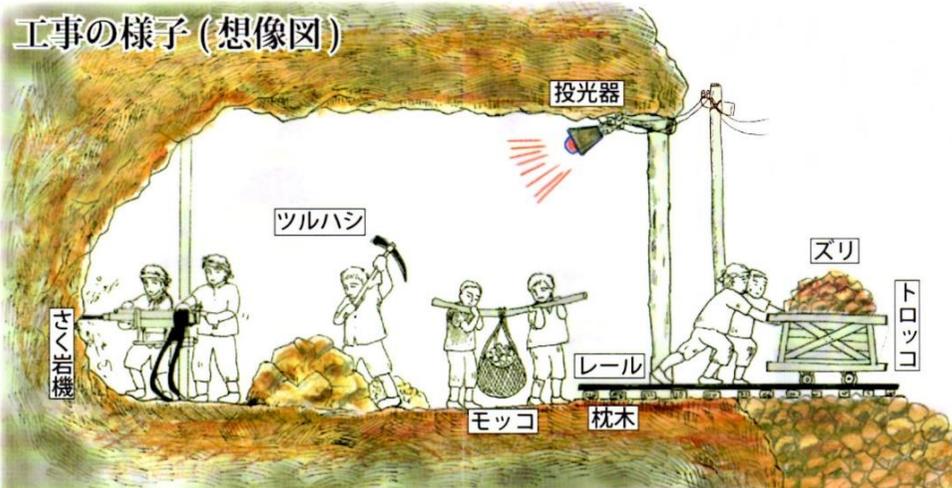
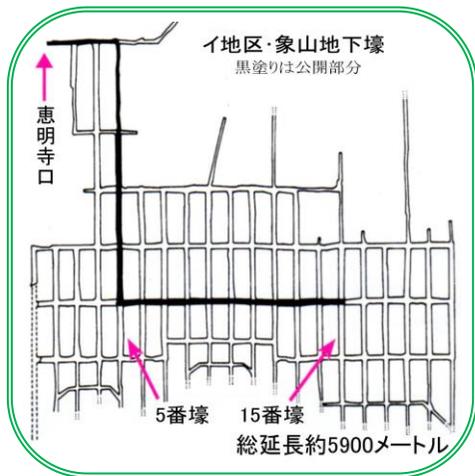
## ●大本営って何？

大本営は、戦争の時に、日本の軍隊の指揮をとる最高司令部です。最高責任者＝大元帥＝天皇のもとで、陸軍や海軍の作戦を立て、軍人たちに命令を出しました。

大本営は、日本軍が戦って敵を倒せば実際以上に大げさに報道し、逆に負けて被害が出た時などはそのことを全く伝えないなど、戦争の本当の姿を隠したまま国民を戦争にかりたてました。

## ●なぜ信州松代が良かったの？

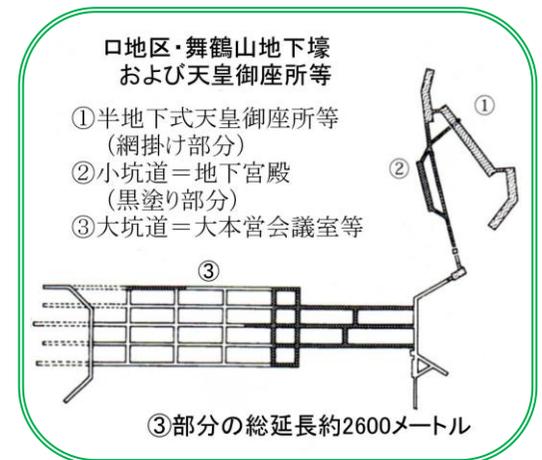
- 1 首都・東京から遠すぎず、近すぎないこと。また 飛行場が近くにあること。(地理的なこと)
- 2 硬い岩盤の地層があり、敵の空襲の爆弾に耐えられること。(地質的なこと)
- 3 山に囲まれた盆地なので空襲を受けにくいこと。また地下に広大な施設を作れるだけの面積があること。(地形的なこと)
- 4 信州では工事に必要な多くの労働力が得られそうであること。
- 5 信州は読み方が「神州」に通じ、天皇の移転先にふさわしい品位と風格があること。



## ●本土決戦って何？

制海権・制空権を失った日本軍は1944年には「本土決戦」を決意しました。同年7月アメリカ軍は、太平洋のサイパン島などに大型爆撃機 B29 の基地を築くのに成功しました。翌45年1月からは、日本各地の軍事施設だけではなく、すべての大、中都市に無差別の徹底的な爆撃を行いました。

国民は毎晩のように続く空襲におびえて暮らしていました。やがて日本本土に上陸してくる敵兵と戦う「本土決戦」では、女性や子どもまでもが、武器の代わりに竹やりを持ち、最後の1人になるまで戦い、天皇のために命を投げ出す覚悟をさせられていました。



## ●なぜ松代に大きな地下壕が掘られたの？

アジア太平洋戦争の終わり頃、日本はアメリカ、イギリス、中国などの連合国との戦いに勝つ見込みがほとんどなくなっていました。大本営は首都・東京の皇居内に置かれていましたが、本土への空襲が迫ってきたので、地方のどこか安全なところへ移転させようと考えていました。

天皇・軍部・政府関係者などが地下に掘られた壕にこもり、戦争を指揮し続けられるようにと計画したのです。

象山の地下には政府機関・日本放送協会 (NHK)・中央電話局を、舞鶴山には大本営・仮皇居を、皆神山には食糧庫を建設して、当時の天皇を中心とする国家の体制 (国体) を守ろうとしたのです。

1944年から準備を始め、11月11日から工事が始まりました。地下壕工事は「倉庫工事」として行われ、「大本営の建設」であることは極秘でした。工事は9か月間でおよそ8～9割が完成し、1945年8月、日本の敗戦で中止されました。

## ●だれが地下壕を掘ったの？

地下壕掘りには、多くの日本人や朝鮮人が集められ、働かされました。日本の植民地だった朝鮮半島からむりやり連れて来られた人たちなど6500人ほどの朝鮮人が、松代の不衛生な小屋で、自由のない生活をさせられ、昼も夜も危険な仕事をやらされていました。1945年4月ごろには日本人の勤労報国隊や児童生徒を含め1万人ほどが松代で工事に関わっていたと言われています。

## ●マツシロとオキナワって関係あるの？

1945年の4月1日、沖縄本島に米軍が上陸し、非戦闘員である住民を巻き込んだ国内で唯一の地上戦は、6月23日 (現在の沖縄慰霊の日) まで続き、沖縄県民の4分の1が亡くなりました。この3か月に及ぶ戦いは、やがてくる本土決戦の準備 (マツシロの地下壕建設もそのひとつ) のための時間稼ぎだったと言われています。

連合国が無条件降伏を迫るポツダム宣言が7月26日に出されましたが、日本の政府はこれを無視して戦争を続けました。8月6日にヒロシマ、9日にはナガサキに原子爆弾が落とされ、ソ連が参戦。ようやく8月14日にポツダム宣言を受け入れ、15日に天皇が国民に向けてラジオで玉音放送を行って終戦を宣言しました。